

《平成29年度共同設置者が主体となって実施した中心市街地活性化事業》

【水戸商工会議所】

(1) 街づくり・マネジメント共同研究会Ⅱ

本共同研究会は平成14年度に、中心市街地の先導的経営者とそれをサポートする行政・コンサルタントなどで構成され「個」の深化・発展から「街」の充実・発展を目指す目的で個店強化事業として設立。

平成17年度にメンバーの一部入れ替えを行い、現在は研究会Ⅱとして活動をしている。

① 研修会

実施日：平成29年6月12日

場 所：餃子とバル310

テーマ：「双葉台地区まちづくりの取り組みについて」

講 師：(株)ゴールドンハーベスト 代表取締役 菅野 俊吉郎 氏

② 視察研修会

実施日：平成30年2月23日～24日

視察先：栃木県宇都宮市・大田原市、福島県白河市

(Laundry Coffee／宇都宮駅前地区再開発、市街地地区再開発事業／トコトコ大田原／
株楽市白河／コミュニティカフェ EMANON)

(2) 三店ものがたり

中心街の店舗による個店販促イベントおよび参加店舗共通イベント（参加店舗等を回るスタンプラリー）を実施し、顧客の回遊による街なかの賑わい創出を図った。

今年度は、例年開催している3月と、同様に売上げが減少する閑散期の8月の2回開催した。3月期には、3店舗分のスタンプを集めて応募すると、抽選で参加店の商品引換券などが当たるWチャンス企画を実施し、より回遊性を高めた。

実施日：平成29年8月21日～27日、平成30年3月1日～4日

参加店舗数：15店舗

(3) 商店会支援・関係機関等連携事業

中心市街地商店会長との懇談会を開催し、中心商店街の変遷や当所が実施する中心市街地活性化事業について情報の共有を図った。

(4) 水戸まちなかなビの運営（IT活用事業）

中心市街地における街づくりやイベント情報、商店会活動、中心街での各種団体の活動など、中心市街地におけるさまざまな情報、街なかの魅力を積極的に発信し、広く一般市民の中心市街地への興味と街づくりに関する意識の向上に繋げた。

また、「まちなかファンクラブ」のフェイスブックページ、ツイッターと連携し、最新のまちなか情報の発信も行った。

(5) 水戸まちなかファンクラブ

水戸の中心市街地に興味を持つ一般消費者を募集。会員数は539名（H30.3.31現在）。

① 水戸まちなかゼミ

中心市街地の店主などが講師となり、店舗や公共施設などを会場に、ためになる専門知識をはじめ、プロならではの技術やコツを受講料無料で提供。泉町二丁目商店街振興組合の「まちカル」

と連携したことで、一層充実した内容となった。

2～3月に開催した回が第10回となり、それを記念して、2講座を受講すると、抽選で「水戸ユラン大賞店商品券」が当たるシールラリー企画を実施。64人(68口)の応募があった。

実施日：平成29年9月2日～10月1日 73講座 509名

平成30年2月3日～ 3月4日 75講座 526名

② 水戸まちなかファンクラブ通信 年3回発行

③ 水戸まちなかファンクラブ SNS (Facebook、twitter) 随時

(6) まちなか学生サポーターC's

平成17年11月に結成した、水戸の大学生らによる中心市街地活性化を支援する団体。

学生の主体的な運営を尊重しつつ、学生そして若者の視点からの中心市街地活性化事業への協力を得ている。

① まちなか回遊記

大学生にまちなかを散策してもらう事で、まちなかの魅力を発見してもらい、まちなかを利用するきっかけづくりとするために、散策イベントを開催。

第1回：平成29年6月4日 12名

第2回：平成30年3月24日 9名

② 第6回水戸まちなかフェスティバルへの参加

まちフェスのオアシスとして、来場者をおもてなしすることを目的に「オアシーズ」ブースを展開。バルーンの無料配布や、まちなかクイズコーナー、飲み物販売を行った。

実施日：平成29年9月24日

場 所：中心市街地（泉町3丁目内ブース）

参加者：9人

③ 「南町ハロウィンイベント」への協力

南町3丁目商店街振興組合が開催した「南町ハロウィンイベント」に協力。総合司会や仮装コンテストの運営を担当した。

実施日：平成29年10月28日

場 所：南町3丁目イベント会場

参加者：8人

④ 第1回みとまちなかインスタグランプリ

中心市街地で「冬」をテーマとして、Instagramに投稿された写真の中から、受賞作品を決定した。応募作品は、まちの駅みとの「みと・まち・情報館」と連携して展示会を開催し、まちなかの魅力あるスポットの発信を行った。

実施日：平成29年12月1日～31日

応募数：65作品

【作品展示会】

実施日：平成30年2月16日～3月12日

場 所：茨城新聞「みと・まち・情報館」

⑤ 茨城大学内に「まちなか情報インフォメーションコーナー」を設置

⑥ フェイスブック・ツイッター・インスタグラムでまちなかのイベント情報などを発信

(7) 水戸芸術館との連携事業

まちと芸術を融合させることにより、中心市街地のイメージアップと交流人口の拡大、他都市との差別化を図る。

① 8ミリフィルムアーカイブ事業「ホームムービング！-家と移動をめぐるアーカイブ」

実施日：平成30年3月10日

内 容：「ホームムービング！」とは、NPO 法人 remo（記録と表現とメディアのための組織）と連携し、市井の人々の記憶を採集し、地域資源として活用する 8 ミリフィルムをアーカイブする取り組み。

3 月 1 0 日はキックオフイベントとして、水戸市泉町の個人宅から発見された 8 ミリカラーフィルムに映る「昭和 30 年代前半の水戸の風景」鑑賞会を実施し、中心市街地の賑わい創出と水戸の魅力再発見に繋げた。

現在は、市民から昭和 30 年～50 年にかけて撮影された 8 ミリフィルムの収集を行っている。今後は収集した 8 ミリフィルムの上映会を中心市街地で展開していくことで、当時と現在のまちを比較して、今後のまちの在り方を探り、中心市街地の活性化につなげていく。

（8）コンパクトシティを推進するための機運醸成事業

① 水戸市中心市街地活性化基本計画に関する資料の周知

人口減少、少子高齢化社会をむかえるにあたって、現在のインフラ網を維持することが難しくなることが予想され、中心部に都市機能を集積し、歩いて生活ができるコンパクトシティが重要になってくる。

平成 2 8 年 7 月に水戸市中心市街地活性化基本計画が内閣府の認定を受けた。そこで、その計画に関する資料等を印刷して、その説明をする機会を設けた。

（9）まちの駅みとネットワーク協議会

平成 20 年 4 月 26 日より中心市街地の個店および専門学校などが参加する「まちの駅みとネットワーク協議会」をスタート。情報発信拠点、憩いの拠点としての効果を図るとともに、ネットワークを活用した各駅提案によるおもてなし事業を行っている。

① まちの駅 PR パネル展示

各駅のパネルとまちの駅みとのパンフレットを拡大したパネルを展示し、まちの駅の機能の紹介や個店、施設の紹介をして広く PR を図った。

実施日：平成 2 9 年 8 月 1 日～3 1 日

場 所：茨城新聞「みと・まち・情報館」

② 「モックカー」製作教室

市内の小学生を対象に、重力や摩擦など理科の勉強をしながら、モックカーを作成。完成したモックカーを専用コースでレースをして順位を決め、表彰式を行った。

実施日：平成 2 9 年 8 月 2 日

場 所：茨城新聞「みと・まち・情報館」

③ 水戸市商店会連合会主催 感謝フェスティバル出店

まちの駅のパネル展示やパンフレット配布、水戸ユラン特別投票イベントなどを行った。

また、駄菓子屋三平と連携した駄菓子屋販売、水戸こどもの劇場協力による子供向け遊び場の設置などを行った。

実施日：平成 2 9 年 1 1 月 1 9 日

場 所：水戸芸術館広場

④ まちの駅 みとまちなか防災クイズラリー

まちの駅 1 5 駅全部を回り、掲示してあるクイズに回答すると、景品をプレゼントするクイズラリーを実施した。

実施日：平成 2 9 年 1 1 月 1 9 日～平成 3 0 年 1 月 1 0 日

場 所：まちの駅みと 1 5 駅

(10) 水戸市中心市街地活性化協議会提案事業

水戸市中心市街地活性化協議会が水戸市に提案して、認定水戸市中心市街地活性化基本計画に反映された事業を推進。

水戸クリエイティブウィーク、アペリティフ365in 水戸、Halloween party in mito への助成を行い、中活協提案事業の支援を実施した。また、水府提灯プロジェクトにおいて、水戸駅北口ペDESTリアンデッキへの水府提灯設置に向けて、設置イメージの図面を作成し、事業の推進を図った。

(11) まちなかほしぞら横丁プロジェクト

新市民会館の整備により、新たなまちの賑わいや交流人口の拡大が期待される泉町周辺地区において、泉町仲通りを歩行者天国にし、ストリートを活用したイベントを2日間実施した。

「ザ★リノバマーケット」と同時開催とし、クラフト・雑貨店の出店やワークショップを実施して、リノベーションまちづくりを支援するとともに、空き店舗を活用したチャレンジショップも開催して、店舗の誘致を図った。

実施日：平成29年9月16日、17日

場 所：泉町仲通り

(12) あなたが選ぶ水戸まちなかグルメ店大賞「水戸ユラン」

中心市街地で営業する全国チェーン店を除いた飲食店などの中から、消費者にお気に入りの店舗を投票してもらい、大賞1店舗・準大賞2店舗を選出した。

消費者に支持されている店舗を顕彰し、公表することによって、店づくりに対する意識の高揚を図るとともに消費者サービス向上の一助とし、地域商業の活性化を図った。

実施日：平成29年10月16日～12月17日

総投票数：3,435票

大 賞 ⑩伊勢屋（135票）

準大賞 木村屋パン店（108票）

準大賞 鉢の木（108票）

(13) 新市民会館活用機運醸成プロジェクト

市民を対象に、さまざまな年齢層・グループごとに使い方サミットを開催することで、新市民会館が広く活用されるように機運の醸成を図った。

実施日：平成29年10月26日（コミュニティスペース「カケルナニカ」の利用学生10人）

平成29年12月5日（中心市街地周辺の「ママたち」など12人）

平成29年12月21日（茨城大学生約80人）

【NPO法人 茨城の暮らしと景観を考える会】

講演

- ・ 5月 8日 (月) 街を使い倒して街を再生する～その土地の衣食住を満喫しよう～
(茨城大学工学部)
- ・ 6月29日 (木) 景観整備機構としての取り組み (全国景観会議)
- ・ 7月13日 (木) 街を使い倒して街を再生する (茨城大学人文学部)
- ・ 7月14日 (金) 知っておきたい自然災害の基礎知識～何が被害を甚大にしたか～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 9月 2日 (土) 選奨土木遺産選定委員会現地視察会～意見交換会の話題として～
(土木学会関東支部)
- ・ 9月23日 (土) 安心できる社会インフラづくり～明治百五十年の反省を踏まえて～
(日本再生プログラム推進フォーラム)
- ・ 10月 3日 (火) 新市民会館周辺公園化構想 (シビルNPO 連携プラットフォーム)
- ・ 10月 5日 (木) NPOによる茨城の地域活動～街を使い倒して街を再生する～ (筑波大学)
- ・ 10月18日 (水) まちづくり入門 その壺～都市計画とは～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 10月18日 (水) まちづくり入門 その式～非営利活動にちまちづくり～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 10月18日 (水) まちづくり入門 その参～まちづくりの視点～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 10月19日 (木) IoT時代における準天頂衛星「みちびき」の利活用と今後の展開について
(総務省異業種連携フォーラム)
- ・ 11月15日 (水) 新しい時代のまちづくり その壺～街を使い倒して街を再生する～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 11月15日 (水) 新しい時代のまちづくり その式～まちみとラボの取り組み～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 11月15日 (水) 新しい時代のまちづくり その参～課題解決と組織づくり～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 11月15日 (水) 新しい時代のまちづくり その肆～プロジェクト・メイキングの実際～
(茨城県測量設計コンサルタント業協会)
- ・ 1月17日 (水) 民主体のまちづくり～街を使い倒して街を再生する～
(群馬県「まちづくり行政担当者ミーティング」)
- ・ 2月 1日 (木) 三の丸の歴史とまちの風景～三の丸の景観を守り、育てるために～
(水戸市都市計画課景観室)
- ・ 2月22日 (木) 水戸の歴史と文化・芸術、自然を活用し「住み続けたいまち水戸」「選ばれるまち水戸」の創造を目指して (スローフード茨城)
- ・ 3月 6日 (火) シェアリング・エコノミー と コネクテッド・エコノミー
(GIS 総合研究所いばらき)
- ・ 3月24日 (土) 誰も言わないイメージアップ戦略～魅力度5年連続最下位「茨城」の挑戦～
(日本再生プログラム推進フォーラム)
- ・ 3月24日 (土) 分かち合いと繋がり～若者とテクノロジーが拓く人間性尊重社会～
(日本再生プログラム推進フォーラム)